楽々通信

第126回 NPO 法人楽の会リーラ 月例会

【日時】2025年2月22日(土)13時30分～16時45分

【場所】豊島区立産業振興プラザ IKE・Biz 6階 多目的ホール

【主催】NPO 法人楽の会リーラ【共催】豊島区

1. 事務局から連絡:3月の例会案内、4月例会の場所は豊島区役所センタースクエアに変更、
女子カフェに相談コーナー設置予定
2. 団体紹介:一般社団法人 Spirit 代表理事 山崎訓子氏
大田区大森を拠点に、就労移行支援事業所、就労継続B型事業所を運営
東京都社会参加応援事業連携団体として居場所運営

3. 講演: テーマ「特性に応じたひきこもり支援」～見守るだけではダメ?!～

講師 石川 大貴 氏 ギフティッド国際教育研究センター代表
社会福祉士 精神保健福祉士

講演要旨:

ニューロダイバーシティとは、脳の特性の多様性を肯定的に捉え、発達障害等を障害や欠陥ではなく、個々の固有の特性や能力の一部であり、個人の違いが尊重される。

時代の変遷による人々の価値観や意識の変化が大きいことを認識しながら、ひきこもりへの理解を深めていく必要がある。

家族は、対話のきっかけとなるコミュニケーションをとることが大事であり、親子の対話とは、子どもの「ことば」に親が「応答する」ことであり、合意形成の場ではない。

子どもの語り「自分はこのような人間である」と思ってほしい、承認してほしい、その語りに対して親は子どもの話を本当かと確かめようとしないこと。

親に心配をかけていること、何もしていないこと、小遣いをもらうこと等は、本人は家族への負債と捉えているが、家事、頼み事や相談を受けることで負債を縮小できる。

支援の方針は、「愛」ではなく、本人を傷つけないこと。社会と接点を持つために第三者が必要となる。

BIG5 性格特性分析による視点で個性を把握し、能力の成長を促す支援について、事例を紹介。

質疑応答:

ご本人から、医療機関やIQを測定する検査機関の探し方について、ご家族からは年金支払いや、今後の金銭的、心身面の心配について質問がありました。

また、BIG5 性格特性をもっと知りたいとの感想もありました。

4. グループでの話し合い

3つのグループに分かれて、講演の感想や話したいことを共有しました。

石川氏と山崎氏には各グループを回りながらアドバイスをいただきました。

<文責:運営委員>